

デザイン総合実習Ⅱ(空間デザインコース)

必修 開講年次：3年次前期 科目区分：実習 単 位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：2年次のデザイン基本科目、展開科目及び発展科目である総合実習Ⅰと空間コース関連展開科目、発展科目を踏まえて、外部環境の形成とその活用、室内環境の形成とその活用、地域環境の理解と再活性化の観点から、建築・環境に関わる専門的な課題を具体的な街づくり・地域づくりの事例の中に発見し、空間デザインの実践的なプロセスを学ぶ。

■**到達目標**：①土地利用計画、施設計画を考える基礎資料になる環境調査の方法と基本的計画ができること。
②室内外の環境および環境心理をふまえた空間の具体的計画ができること。
③①と②を踏まえ札幌市における様々な地域環境の違いに配慮しながら、環境や景観を含んだ空間を建築計画や地域計画を通して計画・設計する方法とプレゼンテーションの方法を修得する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

中原 宏・矢部 和夫・羽深 久夫・斉藤 雅也・山田 良・上田 裕文・片山 めぐみ・◎金子 晋也

■**授業計画・内容**：

1. 室内外の環境の理解と実践を通じた空間の活用
第1回 ガイダンス・調査方法・初期調査
第2回 環境調査と活用する空間の発見
第3回 環境の提案
第4回 講評
2. 都市近郊における外部環境の形成と活用
第5回 ガイダンス・調査方法・初期調査
第6回 外部環境の理解と利用計画
第7回 外部環境の形成と活用についての提案
第8回 講評
3. 豊かな地域社会を育むための公共建築
第9回 課題説明と現地調査
第10回 地域社会と公共空間の考察（調査結果、提案内容の発表）
第11回 公共建築の計画、付属施設の計画、外部空間の計画①
第12回 公共建築の計画、付属施設の計画、外部空間の計画②
第13回 プレゼンテーションの制作
第14回 プレゼンテーションの制作
第15回 講評

■**教科書**：必要に応じて適宜配布する。

■**参考文献**：『建築・都市計画のための空間計画学』／日本建築学会（井上書院）
『北のランドスケープ』／浅川編著（環境コミュニケーションズ）

■**成績評価基準と方法**：提出課題作品（50%）、エスキス内容（30%）、現地調査報告（20%）を総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	○	○	エスキスに対する姿勢 調査に対する取り組み	10
発表	◎	◎	○	エスキスの内容 調査報告等の内容	40
課題・作品	○	○	◎	計画趣旨 計画趣旨と内容の整合性 適切な表現	50
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習Ⅰ、デザイン総合実習Ⅲ、空間デザインコース関連展開科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：デザイン総合実習Ⅰ（空間デザインコース）で基本的な空間デザインの思考方法と表現方法を修得したうえで、実践的な建築デザイン・環境デザインの課題に取り組むための第1歩として現実的な課題に取り組む。